

大会要項

第46回 全日本スキー選手権大会

フリースタイル競技 エアリアル種目

1. 主催 公益財団法人全日本スキー連盟
2. 主管 公益財団法人北海道スキー連盟・美深スキー連盟
3. 公認 国際スキー連盟及び公益財団法人全日本スキー連盟A級公認
4. 後援 北海道、美深町、北海道新聞社、北都新聞社、名寄新聞社
5. 協力 美深町教育委員会・美深町エアリアルプロジェクト委員会
6. 支援 陸上自衛隊名寄駐屯地
7. 期 日 令和8年1月30日（金）～1月31日（土）
※但し、1月31日（土）が荒天等の場合は2月1日（日）に順延とする。
8. 開催地 美深スキー場 中川郡美深町字敷島347番地
9. 日程 天候等の状況により変更する場合があります。詳細はTCMで通告する。

1月30日	10:00～ 公式練習	TCM
1月31日	11:50～ 決勝競技	表彰式
10. 競技種目 フリースタイル競技 エアリアル種目
11. 競技規則 この要項に定めた以外は、国際スキー連盟及び全日本スキー連盟競技規則に基づき実施する。
12. 参加定員 男女合計50名
13. 申込締切 **令和8年1月16日（金） 15:00必着**
14. 申込方法 各チームの選手を取りまとめ、申込用紙に記載の上、持参または現金書留にて、以下の住所へ郵送してください。
15. 申込先 〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町22番地
美深町教育委員会内 エアリアル大会実行委員会事務局 TEL 01656-2-1744
16. 参加料 **1種目 5,000円**（原則として参加料の返還は行わない）
17. 参加資格
 - 2025/2026年SAJ会員登録およびSAJ競技者登録番号取得済の者。
 - FISレース対象者は国際スキー連盟登録済で、FISサイトにて登録確認ができる者。
 - SAJスキー安全会もしくはスポーツ傷害保険、またはこれに準ずる傷害保険に加入している者。
 - 全ての選手は、申込書に記載されているチームキャプテンおよび保護者の承諾の元に参加する。
18. 傷害処置 トレーニング中または競技中に参加選手が傷害を受けた場合、主催者側が応急処置を行うが、その後の処置は各自の責任で対応すること。
19. 表彰 優勝者に優勝杯、1位から3位には賞状およびメダル、10位までには賞状を授与する。
20. その他
 - 1) 大会運営本部事務局は、令和7年12月上旬頃に開設。
 - 2) 申込書の記入漏れや誤記がある場合、申込を受理できないことがある。
 - 3) 個人情報、個人情報保護法に基づき取り扱いをいたします。
 - 4) 引率・帯同を希望するコーチがいる場合は、申込書にて事前に申請を行うこと。事前申請がない場合、コーチエリアに入れない場合がある。
 - 5) 会場内では、一部立ち入り制限をする場合がある。
 - 6) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
 - 7) 本競技会参加者（未成年者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点でJADA規定に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。
 - 8) アスリートには教育を受ける権利がある。また、教育に関する国際基準において、ドーピング・コントロールの前に教育を受けることは原則として明記されており、以下のサイト、教材においてアンチ・ドーピング教育とスポーツの価値教育を受けたうえで、アスリートは本競技会に参加すること。（https://www.realchampion.jp/who/national_outline/?utm_source=ski&utm_medium=yokou&utm_campaign=202312ski）
 - 9) 本競技会に参加する未成年の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイトよりダウンロードができます。（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）
（シクミネットでの競技者登録時にアップロードした同意書でも代用を可とします。）
未成年の競技者はドーピング検査の対象となった際に、当該同意書を担当検査員に提出すること。
なお、親権者の同意書の提出は未成年時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、既に提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。

ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がない場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものとする。

- 10) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 11) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- 12) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAウェブサイトにて確認すること。（<https://www.playtruejapan.org/>）
- 13) 本連盟及び本競技会は「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」に賛同する。
（<https://www.joc.or.jp/news/detail.html?id=2947>）
（<https://www.joc.or.jp/news/download.php?id=2947&fn=bouryokukonzetsusengen%28yoko%29.pdf>）

[個人情報及び肖像権に関わる取扱い]

- 1) 個人情報保護に関する法令を遵守し、参加申込で得た情報は成績発表及び大会に係わる業務のために利用し、目的以外に利用しない。
- 2) 公益財団法人全日本スキー連盟及び大会実行委員会が大会中に撮影した写真及び映像の著作権は公益財団法人全日本スキー連盟に帰属し、普及広報活動のために公開される場合がある。
- 3) 参加申込書の提出により、公開に関する取扱いについて承諾をしたものとする。
- 4) その他の取扱いについては、公益財団法人全日本スキー連盟における個人情報保護規定及び個人情報保護の方針の取扱いに準じる。